

栃木県那須烏山市「烏山の山あげ行事」
ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財



山あげ祭



四六〇余年の伝統
日本一の移動式野外歌舞伎舞踊

当番町 金井町

山あげ祭特設サイト 検索



2023年
7月21日(金) 22日(土) 23日(日)

問合せ先: 山あげ祭実行委員会 (那須烏山市商工観光課) ☎0287-83-1115 (一社) 那須烏山市観光協会 ☎0287-84-1977
新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催内容等について変更となる可能性があります。

芸題のあらすじ

将門

平将門滅亡後源頼信の命を受けた大宅太郎光國(おおよたるうみつくに)は、蝦蟇(がま)の妖術を使う怪しいものが出るという相馬の古御所に探索に行く。
光國が古御所の中で旅姿のまま仮寝をしていると、ふと、不気味な空気を感ずる目覚ました。するとそこに絶世の美女が現れる。不審に思った光國は斬りかかろうとするが、その女は京の都の島原の傾城(遊女)の「如月(きさらぎ)」と名乗り、色仕掛けで光國を味方に引き入れようとする。光國は、将門の娘・滝夜叉姫(たきやしやひめ)であろうと察し、かつての将門の乱の模様を細かに語り始める。将門落命の様子を聞くと如月は父の最後に涙を流し始める。如月は取り繕おうとするが、将門の形見である相馬錦の御旗を落としてしまう。それを見た光國は滝夜叉姫であると見破り、ついに正体を明かし、大立ち回りへ…



▼昼公演の様子

戻り橋

ある日の夜更け、渡辺綱(わたなべのつな)が京の一条戻り橋に差し掛かると、一人の美女小百合(さゆり)と出会う。こんな夜更けに女性一人でいることを不審に思い、綱が家まで送ろうと申し出る。小百合と連れだつて橋を渡る際、綱が水面を見てみると、物凄いい形相の鬼女が映っているではないか。綱はこれは愛宕の悪鬼の化身ではないか。探りを入れる。小百合は自分の父は扇折(おうぎおり)であると告げると、綱は舞を所望し、小百合は華麗に披露した。さらに探りを入れると、未だ名乗らなかつた綱の名を小百合は何故か知っていた。そのことを問い詰めると、それは恋しい人の名だからと告げるが、綱はそれが嘘であり、妖魔の術を使い名を知つたのだらうと言う。本性を見破られ小百合は鬼女へと姿を変え大立ち回りになる。鬼女は綱の襟首をつかみ愛宕山の棲み家へ連れ去ろうとするが、腕を太刀で切り落とされたまま逃げ去つてゆくのであった。



▼夜公演の様子

山あげ祭まるわかりサイトについて

駐車場 混雑状況
各駐車場の満車・空車情報がわかる!

金井町 屋台 位置情報
各屋台が今どこにいるかわかる!

トイレ位置情報

公演状況情報

シャトルバス 運行案内

各会所案内

詳しくはこちら!!
開演中の公演の場所や芸題等、山あげ祭の情報がすぐに分かる便利な山あげ祭専用のページです! まずはアクセス
<https://yamaage.3g-kizuna.jp/>

山あげ祭に関するお問い合わせ先

平日の問い合わせ先
山あげ祭実行委員会事務局(市商工観光課) ☎0287-83-1115
休・祝日の問い合わせ先
(一社) 那須烏山市観光協会 ☎0287-84-1977

観光情報掲載サイト一覧

